

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
文学国語	2	A B C D E F	2	必修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	『文学国語』（第一学習社）
使用教材等	『読解評論文キーワード』（筑摩書房） 『意味から学ぶ頻出漢字3000』（第一学習社） 『新国語総合ガイド五訂版』（京都書房） 『LT現代文2』（浜島書店）

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】 本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付ける。韻文や散文の表現効果や筆者がどのような認識や思考を述べようとしているか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文のテーマについて、自分の考えと、自分を取り巻く社会・生活とを関連させながら思考したり表現したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心をもち、本文のテーマに関連した問題について探究しようとする。
------	--

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	「旅する本」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、文学的な文章の種類や特徴、文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【態】教材の内容に関心をもち、自分の成長や人生の経過について探究しようとする態度を養う。	- 基本的な語句や漢字 - 文章の構成や展開、表現の工夫 - 文体の特徴や表現の技法	「旅する本」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、文学的な文章の種類や特徴、文体の特徴や表現の技法を理解しようとしている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、自分の成長や人生の経過について探究しようとしている。
	「永訣の朝」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解し、我が国の言語文化について理解を深める。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深める。 【態】内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	- 基本的な語句や漢字 - 想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 - 文体の特徴や効果を踏まえた読み方	「永訣の朝」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解し、我が国の言語文化について理解を深めようとしている。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深めようとしている。 【態】内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察しようとしている。
	『山月記』 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、使うこと。 【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 【態】教材の内容に関心をもち、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。	- 基本的な語句や漢字 - 想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 - 文体の特徴や効果を踏まえた読み方	『山月記』 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、使う力を身に付けようとしている。 【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈しようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、解釈の多様性について探究しようとしている。
	「風船乗りの夢」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解し、我が国の言語文化について理解を深める。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深める。 【態】内容を解釈する方法を学ぶとともに、詩の面白さを味わう。	- 基本的な語句や漢字 - 想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 - 文体の特徴や効果を踏まえた読み方	「風船乗りの夢」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解し、我が国の言語文化について理解を深めようとしている。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、詩の面白さを味わおうとしている。
	「花のいざない」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているか理解すること。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。	- 基本的な語句や漢字 - 文章の構成や展開、表現の工夫 - 情報や抽象など評論の基本的な読み方	「花のいざない」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているか理解しようとしている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、芸術について探究しようとしている。
2	『こころ』 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使おうとしている。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 【態】教材の内容に関心をもち、自分のものの見方、感じ方が深まるような態度を養う。	- 基本的な語句や漢字 - 想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 - 作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえた読み方	『こころ』 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使おうとしている。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、自分のものの見方、感じ方が深まるようにしている。
	「真珠の耳飾りの少女」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているか理解すること。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【態】教材の内容に関心をもち、芸術について探究しようとする態度を養う。	- 基本的な語句や漢字 - 比喩、例示、言い換えなどの表現技法 - 論の展開や要旨の捉え方など評論の読解方法	「真珠の耳飾りの少女」 【知】本文に用いられている語彙・漢字の正しい使い方を身に付け、筆者がどのような認識や思考を述べようとしているか理解しようとしている。 【思】作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、芸術について探究しようとしている。
	「わたしが一番きれいだったとき」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解し、我が国の言語文化について理解を深める。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深める。	- 基本的な語句や漢字 - 想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 - 作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえた読み方	「わたしが一番きれいだったとき」 【知】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 【思】設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、探究しようとしている。
	『檸檬』 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使うこと。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めること。 【態】教材の内容に関心をもち、自分のものの見方、感じ方が深まるよう探究する態度を養う。	- 基本的な語句や漢字 - 想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 - 作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえた読み方	『檸檬』 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使うこと。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、自分のものの見方、感じ方が深まるよう探究しようとしている。
	「死んだ男の残したものは」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理	基本的な語句や漢字	「死んだ男の残したものは」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解し、我

3	解し、我が国の言語文化について理解を深める。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深める。 【態】内容を解釈する方法を学ぶとともに、詩の面白さを味わう。 「小諸なる古城のほとり」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、使うこと。 【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 【態】教材の内容に関心をもち、言葉の働きについて探究しようとする態度を養う。	・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方 ・想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 ・基本的な語句や漢字 ・想像や心情を豊かにする働きがある語句、情景の豊かさや心情の機微を示す語句や表現技法 ・作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえた読み方	が国の言語文化について理解を深めようとしている。 【思】内容や展開・構成・場面設定や描写のしかた。また作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学び、作品の解釈を深めようとしている。 【態】内容を解釈する方法を学ぶとともに、詩の面白さを味わおうとしている。 「小諸なる古城のほとり」 【知】文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、使おうとしている。 【思】語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈しようとしている。 【態】教材の内容に関心をもち、言葉の働きについて探究しようとしている。
---	--	--	---

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。